和高蹴球新聞

令和４年８月 24 日
第　１　号
県立大和高校サッカー部

ただいま！時之栖遠征！

（きれいな富士のふもとでサッカーできました）

（どんな状況でもベストを尽くしました）

令和４年８月８日(月)～10 日(水)と 10 日(水)～12 日(金)で本校サッカー部は静岡県御殿場市にある時之栖に遠征に行ってきました。TOP チームと 2nd チームに分けて２泊３日ずつ、サッカーの試合漬けの毎日を送りました。

コロナウイルスの影響で過去２年間、泊を伴う移動ができなかったこともあり、高校で初めて遠征を体験した生徒も多くいました。今回の遠征ではピッチ上での学びはもちろんのこと、ピッチ外の過ごし方や振る舞いなど多くの収穫を得ることができました。監督が「遠征を日常として捉えること」と話していましたが、その言葉を予期していたのか、生徒は自発的に勉強道具を持ち込み、移動のバスの中で単語集を見るなど、自分で時間を有意義に使っていることが印象的でした。

次回の遠征では、今回の経験を活かし、さらなる成長を遂げてくれると信じています。

〈試合結果〉

☆TOP チーム☆

【１日目結果】
vs 中央学院高校　2-3
vs 中央学院高校Ｂ 2-0

【2 日目結果】
vs 近江兄弟社高校　2-0
vs 尼崎北高校Ｂ 13-0
vs 高輪高校　2-1

【３日目結果】
vs 尼崎北高校Ａ 9-1
vs 東海大菅生高校Ｂ 8-2

☆2nd チーム☆

【１日目結果】
vs 名東高校 1-2

【２日目結果】
vs 長野日大高校　7-2
vs 桐陽高校　6-2
vs 京都精華学園　3-2

【３日目結果】
vs 大森学園　0-0
vs 長野日大高校　6-0

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔・本・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

時之栖遠征 2022 ダイアリー

サッカーに真剣に取り組む生徒の姿をご覧ください。

和高蹴球新聞

令和４年８月 24 日
第　２　号
県立大和高校サッカー部

祝　国体本大会出場決定！！

(上段左から２番目が折原、その他の選手は全てＪクラブユース)

令和４年８月 14 日(日)、駒沢オリンピック公園総合運動場第２球技場(人工芝)で行われました国民体育大会本大会出場をかけた関東ブロック大会で、本校サッカー部２年折原怜がゴールキーパーとして活躍し、本大会出場を決めました。

相手の埼玉県選抜とは双方譲らぬ厳しい戦いの末、1-1 で PK 戦にまでもつれ込みましたが、折原が相手キッカーのシュートをストップし、勝利(PK4-3)に導きました。

本人は神奈川県選手団唯一の高体連所属の選手で緊張もしたと思いますが、普段の練習の成果を存分に発揮し、チームメートと協力し、立派に勝利に貢献しました。

本大会は 10 月２日(日)～６日(木)に栃木県で行われます。本校サッカー部２年折原怜及び神奈川県選手団の応援をよろしくお願いします。

折原君に聞いてみました

Q. PK のときはどんなことを考えていた？
A. PK 直前に「PK を止めてヒーローになれ！」と指示を受けピッチに投入されたので、なんとかそれだけは達成しようと強い気持ちをもって臨んだ。期待に応えることができてよかった。

Q. 本大会に向けて一言！
A. 高体連唯一の選手ということで周りには日本代表候補の選手がいる中だが、自分のできることを精一杯やって神奈川県選手団の目標である優勝に向かって全力で頑張りたい。

県立の輝く１番星

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔・本・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和４年９月 14 日
第　３　号
県立大和高校サッカー部

奮闘！惜敗選手権２次予選

令和４年９月 11 日(日)、馬入公園競技場で行われました全国高等学校サッカー選手権大会神奈川県２次予選１回戦で横浜隼人高校と対戦し、0-4 で敗退しました。

前半開始早々、体が硬く、普段通りの動きができていないところに立て続けに２点を失い、苦しい立ち上がりとなりました。徐々に体が動くようになり、後半追いつき逆転を狙っていたところ、後半開始早々に失点し、終了間際にもさらに失点してしまいました。

相手校の選手が次々と足がつる壮絶な試合の中、本校の選手は誰一人足がつることなく、最後まで諦めずに立派に戦い抜きました。何度もゴールに迫りましたが、あと一押し…。

３年生はこれで一区切りとなりますが、今後も本校サッカー部・３年生への応援を引き続きよろしくお願いします。

宮澤監督に大会を振り返ってもらいました

Q.　この試合を振り返って一言
A.　ゲームの流れに乗ることができなかった。立ち上がりに連続失点をして勢いに飲まれた。また、決定機をものにできなかったことも大きかった。

Q.　サッカー部で求める選手像
A. 文武両道で勉強もサッカーも本気で取り組む生徒。

Q.　今後のサッカー部の活動について
A. 経験不足が大きく響いているので、強豪校との試合も含め、リーグ戦や対外試合、遠征の回数を重ねることで経験を積ませたい。

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

選手権２次予選 2022 ダイアリー

サッカーに本気で取り組む生徒の姿をご覧ください。

【試合前】神奈川を代表する鳥居トレーナーのもと、マネージャーのサポートも受け準備しました。
※鳥居コーチの特集は次号掲載予定です。

【試合】選手たちは全力でサッカーに取り組みました。

和高蹴球新聞

令和４年 10 月３日
第　４　号
県立大和高校サッカー部

特報 鳥居亮トレーナーの素顔に迫る

令和４年度から大和高校サッカー部では神奈川県を代表する鳥居亮トレーナーをお招きし、フィジカルトレーニングや身体のケア、試合前の調整など様々な面で献身的にチームをサポートしていただいています。

今回は選手やスタッフからの信頼も厚い鳥居トレーナーを特集します！練習の様子も紹介するので、要チェックです！

鳥居トレーナーってどんな人？

・ナチュラル鍼灸治療院　院長
・湘南ベルマーレ茅ヶ崎コンディショニングセンター　マネージャー
・神奈川県サッカー協会医科学委員トレーナー担当
・神奈川県教員サッカークラブトレーナー
・神奈川県サッカー国体チームトレーナー

鳥居トレーナーに聞いてみました

Q. 大和高校サッカー部の活動に参加するきっかけは？
A. 今年度着任した宮澤監督に声をかけてもらったから。宮澤監督とは 20 年来の知人で、声をかけてもらって断ることは考えなかった。一緒にサッカー部を盛り上げたい。

Q. トレーニングで大切にしていることは？
A. 姿勢と呼吸、フォームの取り方を意識して指導している。力任せに行ったり、姿勢が曲がっていたりすることがないよう気を配っている。トレーナーとしては 80 分、90 分を戦い抜く身体作りを責務と捉えている。また、ギアの入れ方や協働ができるようになれば、チームとしてさらにステップアップできる。

Q. 大和高校サッカー部の選手の印象は？
A. 真面目。伝えたことを嫌な顔せず、しっかりと取り組む。今見ているチームの中では最も真剣に取り組むチーム。ただ、大人しいとも言えるので、もっと自己表現ができるようになれば、さらによくなる。

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

フィジカルトレーニング 2022 ダイアリー

サッカーに本気で取り組む生徒の姿をご覧ください。

☆常に実践を想定し、練習を行います☆

☆時間を忘れて暗くなるまで真剣に取り組んでいます☆

☆鳥居トレーナーには身体のケアはもちろん、多くの面でアドバイスをいただいています☆

鳥居トレーナー！今後ともよろしくお願いします！

和高蹴球新聞

令和４年 10 月 11 日
第　５　号
県立大和高校サッカー部

おめでとう！ 国民体育大会優勝！

令和４年 10 月３日(月)～６日(木)に栃木県で行われました国民体育大会で、本校サッカー部２年折原怜が神奈川県チームの正 GK として出場し、優勝に大きく貢献しました。

Ｊクラブユース中心のチームでスターティングメンバーに名を連ね、神奈川県のゴールを守りつつ、チームメイトを鼓舞し続ける姿はまさに神奈川の守護神！県立の至宝！

折原はもちろん神奈川県チームの選手・スタッフのみなさん、大会関係者のみなさん、本当にお疲れさまでした！そして感動をありがとうございました！

☆国体試合結果☆

10 月３日(月) vs 広島県　4-0　先発出場
10 月４日(火) vs 東京都　2-1　先発出場
10 月５日(水) vs 大阪府　4-1　先発出場
　　１アシスト
10 月６日(木) vs 青森県　2-1　先発出場
神奈川県チームのみなさん、お疲れさまでした！

国民体育大会ダイアリー

(↑初戦 vs 広島県 後列左端本校サッカー部２年折原　↓顧問宮澤監督(県サッカー協会技術委員として全日程帯同)と　↑決勝 vs 青森県 練習)

☆Yahoo!ニュースで紹介されました☆

出版業界最大手の講談社が運営するサッカー関連情報を専門に扱う WEB メディア「ゲキサカ」での折原怜の記事が Yahoo!ニュースで紹介されました。記事は次の URL か QR コードからアクセスしてください！

https://news.yahoo.co.jp/articles/48aee135f5f11be4f84a2f36ba796926325fc036

要チェック！

大和高校一同　がんばれ！　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和４年 10 月 25 日
第　6　号
県立大和高校サッカー部

地域交流に取り組んでいます！

令和４年 10 月から隣接した大和市立つきみ野中学校と連携し、サッカー交流を始めました！つきみ野中学の部員は大和高校サッカー部の活動に参加し、大和高校の部員は中学校の GK コーチに指導を仰いでいます。また、そのほかにも積極的に中学生とも練習試合を行うなど、地域社会と積極的に関わる新たな部活動の形を展開しています。これからの大和高校サッカー部の新たな取組みに注目しつつ、応援をよろしくお願いします！

☆ 10 月の地域交流 ☆

10 月８日(土)　vs 横浜市中体連選抜
10 月９日(日)　vs Vida S.C. ISAMA
(座間市中学生ｻｯｶｰｸﾗﾌﾞ)
10 月 18 日(火) つきみ野中ｻｯｶｰ交流

宮澤監督に聞いてみました

Q. つきみ野中学校との連携や中学生との練習試合について

A. 自分が小学生から中学生、トレセン、女子など多くの世代・選手と関わっているので、サッカー全体の普及・振興、強化・育成の観点で、以前から積極的に地域と協働したいと考えていた。つきみ野中学校との連携については、中学校の顧問の先生が以前からの知り合いで、お互いの学校にプラスになると考え実施した。今後もより密に連携を図っていきたい。練習試合については特にカテゴリーを意識することはなく、お互いが成長できるような試合を意識している。中学生にとっても高校生のプレーを見たり、肌で感じることで貴重な学びの機会になると考えている。今後も中学生や地域との交流をより深めていきたい。

Q. 地域社会での大和高校サッカー部が果たす役割について

A. コミュニティの中心としての役割を担いたい。例えば小学生が大和高校を会場に試合を行い、高校生がその試合を運営するなど、地域社会にとって不可欠な存在でありたい。そして大和高校に関わった子どもが大人になったとき、地域社会に自ら積極的に貢献できるような人材育成に寄与したい。

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

地域交流 2022 ダイアリー

サッカーに本気で取り組む生徒の姿をご覧ください。

☆横浜市中体連選抜と練習試合☆　相手ベンチには国体優勝に導いた監督がいらっしゃいました

☆Vida S.C. ISAMA(座間市にあるｻｯｶｰｸﾗﾌﾞ)と練習試合☆

☆つきみ野中学校とサッカー交流☆　中学生が鳥居ﾄﾚｰﾅｰにｱﾄﾞﾊﾞｲｽをもらっています

和高蹴球新聞

令和４年 11 月 15 日
特　別　号
県立大和高校サッカー部

アオハル女子応援特集

激闘！女子サッカー

関東秋季大会

令和４年 10 月 22 日(土)、茨城県鹿島ハイツで行われました第 18 回関東高校女子サッカー秋季大会で千葉県八千代松陰高等学校と対戦し、0-1 で敗退しました。

昨年度と同じ組み合わせということもあり、リベンジに向けて選手は果敢にゴールを狙いましたが、あと一歩届きませんでした。前半は相手にボールを動かせつつ、粘り強い守備でカウンターを狙うという想定通りの形で展開しましたが、次第に押し込まれる時間が増え、得点を奪われてしまいました。後半はポジションを変えるなど積極的に得点を取りにいき、フリーキックやコーナーキックでチャンスを作りましたが、得点を決めきれませんでした。

今後とも大和高校女子サッカー部の応援をよろしくお願いします。

大澤監督に大会を振り返ってもらいました

Q．この試合を振り返って

A．昨年の敗退もあり、大会前キャプテンの怪我もあり、関東大会１勝に向けて何としても勝ちたい試合でしたが、残念ながら敗退となりました。生徒達は今ある力を十分に発揮して最善を尽くすことができました。この悔しさをバネにこれから１・２年生新チーム活動に繋げていきます。

Q．大和高校女子サッカー部の強みは

A．部員の考える力があり、自分の為にだけではなくチームの為にも誰かの為にも全力で取り組む力が高いので、チーム力の高さと助け合う力が強みだと感じています。

Q．今後の女子サッカー部の活動について

A．関東大会での経験を活かして、新人大会でもチーム一丸となり、チーム目標のベスト４以上を目指して取り組んでいきます。

スタッフ前列右端大澤監督・前列左端が田中顧問・大澤監督の隣清田トレーナー

大和高校一同

応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和４年１１月１５日
第　７　号
県立大和高校サッカー部

発掘！明日のヒーロー！北相地区選抜特集

今回は北相地区選抜に選ばれている１年生４人を紹介します。例年、大和高校から北相地区選抜に選ばれるのは１人ぐらいでしたが、今年はなんと４人も選ばれました！東海大相模などの強豪私学も活動する地域で、スポーツ科学科を設置する厚木北高校に次ぐ４人が選ばれたことは、大和高校サッカー部の新たな取組みが徐々に形になってきた証です。他校の選手と高いレベルで切磋琢磨することで、サッカー技術の向上はもちろんのこと、社会性も磨かれるはずです。サッカーにひたむきに取り組む生徒とともに、大和高校サッカー部への応援を引き続きよろしくお願いします！

北相地区選抜って何？

【目的】優秀な選手を発掘する。
【選考】９月から３回程度実施し、北相地区で30人弱が選ばれる。
【活動】月１回程度の練習と試合がある。
翌年２月まで活動を行う。
【その他】
よい結果を残すことができれば、U17神奈川県選抜に選出される。
➡国体優勝GK折原(本校２年所属)選出済

北相地区選抜への思いを聞きました

Q．北相地区選抜に参加して感じたことは？
A．周りのレベルの高さを感じたが、その中で自分がどうプレーすれば試合に出ることができるか考えて取り組むようになった。前回の試合に出ることができたので継続していきたい。
(海老名市立海西中出身　中原一樹)
A．パスの質やトラップの技術、球際の強さなど一つ一つのプレーの質の高さを感じた。ここでの学びを自分の力に変えていきたい。
(海老名FC出身　鈴木大雅)

Q．北相地区選抜で頑張りたいことは？
A．センターバックなので後ろからチーム全体をコーチングし、チームを支える「要」のような存在になれるよう取り組みたい。
(川崎チャンプ出身　廣嶋春紀)

Q．北相地区選抜で得たことをチームにどう還元するか。
A．練習への本気度やプレーの質(判断の速さなど)を普段の練習に取り組む姿勢で見せてチームに還元したい。
(FC多摩出身　太田絢介)

（後列左から太田絢介・廣嶋春紀　前列左から鈴木大雅・中原一樹）

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和４年 12 月 23 日
第　８　号
県立大和高校サッカー部

快挙！U-16 関東トレセンキャンプ参加決定！

今回は U-16 関東トレセンキャンプのメンバーに選出された本校２年折原怜を特集します！このキャンプは各県から各ポジション１名程度が推薦を受け参加できるもので、神奈川県の GK として折原怜が推薦されました。関東には FC 東京(東京都)や柏レイソル(千葉県)の下部組織に在籍し、日本代表経験のある選手など数多くの優秀な GK がいます。これまでの大和高校サッカー部からこのキャンプに参加している選手はおらず、大和高校サッカー部の新たな歴史をまた一つ作りました！

折原とともにサッカーに全力で取り組む大和高校サッカー部の応援を引き続きよろしくお願いします！

関東トレセンキャンプって何？

【目的】優秀な選手を発掘・育成する。

【選考】各県から推薦された選手(GK は１名など)を日本サッカー協会関東地域担当者が中心となって選考する。

【活動】１月 17 日・18 日にトレーニングキャンプ(場所：高円宮記念 JFA 夢フィールド)を実施する。

【その他】
トレーニングキャンプや日々の活動でよい結果を残すことができれば、日本代表に選出される。

関東トレセンキャンプへの思いを聞きました

Q. 関東トレセンキャンプに向けて

A. 選ばれたことは素直に嬉しい。普段練習を見ていただいている先生方やともに切磋琢磨する選手のみんなに感謝したい。今年に入って選抜に選ばれるようになったので、貴重な経験を糧に成長を続け、大和高校サッカー部に還元していきたい。国体では自然体のパフォーマンスを評価していただいたので、今回のキャンプでも自分の特徴を発揮していきたい。（本校２年・折原）

Q. 関東トレセンキャンプで学んでほしいことは？

A. W 杯の結果を受けて、目標から逆算したトレーニングが展開される中、代表に選出されるためには何をしたらいいか、自分には何が足りないか、世界基準で考えられるようになってほしい。（顧問・宮澤監督）

★ジョガドーリスリーグ参戦決定★

来年度より大和高校は U-16 ジョガドーリスリーグに参戦します！ジョガドーリスリーグとは関東の高校が所属するリーグ戦で、トップリーグには山梨学院高校、昌平高校も参加しています。令和４年度に神奈川県立高校として参加しているのは厚木北高校１校だけです。新たな取組みを続ける大和高校サッカー部に今後とも注目してください！

大和高校一同　

応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和５年１月１１日
第　９　号
県立大和高校サッカー部

第２弾！白熱・時之栖遠征(冬 ver.)

今回は令和４年 12 月 25 日(日)～27 日(火)に実施した時之栖遠征を特集します。静岡県時之栖への遠征は８月に続き２回目！北は岩手県から南は鹿児島県まで全国の学校が集まり、サッカーを通して交流を深めました。前回と比べて、ピッチ上では対戦する学校も星稜高校(石川県)を筆頭に強豪校が多く、選手にとっては学びの多い遠征になりました。ピッチ外でも次第に大和高校サッカー部として集団行動ができるようになり、遠征を通して社会性も育まれていると感じました。

サッカーに全力で取り組む大和高校サッカー部の応援を引き続きよろしくお願いします！

☆ 時之栖(冬)試合結果 ☆

【１日目】vs 高崎高校(群馬県)4-2
【２日目】vs 藤枝明誠高校(静岡県)0-1
　　vs 大宮南高校(埼玉県)0-0,2-1
【３日目】vs 大垣工業高校(岐阜県)5-2
　　vs 星稜高校(石川県)1-1

お疲れさまでした！

(活動写真は次のページにもあります)

★元プロサッカー選手特別レッスン★

令和４年 12 月、湘南ベルマーレや大宮アルディージャで活躍された村山祐介さんに本校までお越しいただき、サッカー指導を行ってもらいました。宮澤監督と旧知の仲である村山さんは、Ｊリーグで 100 試合以上に出場された選手で、高校生にとってはまたとない貴重な機会となりました。プロサッカー選手からの直接レッスンに選手たちの顔も輝いていました！

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

時之栖遠征(冬 ver.)2022 ダイアリー

サッカーに本気で取り組む生徒の姿をご覧ください。

【１日目】vs 高崎高校(群馬県)4-2

【２日目】vs 藤枝明誠高校(静岡県)0-１

【２日目】vs 大宮南高校(埼玉県)0-0,2-1

【3 日目】vs 大垣工業高校(岐阜県)5-2

【3 日目】vs 星稜高校(石川県)1-1

和高蹴球新聞

令和５年２月７日
第　10　号
県立大和高校サッカー部

激闘！北相地区新人大会兼関東大会予選シード決定戦

今回は令和４年 11 月から令和５年１月まで行われました北相地区新人大会兼関東大会予選シード決定戦を特集します。本校サッカー部は、12 月 24 日に行われた柏木学園高校戦の勝利をもってグループ１位で関東大会予選のシードを決めるトーナメントに進出することができましたが、１月の秦野高校に敗戦したことで、残念ながら関東大会予選のシード権を勝ち取るとこができませんでした。選手たちが勝利に向けて必死に戦う姿、秦野高校戦終了のホイッスルを聞いたとき、涙を流す選手の姿…どの姿も見るものの心に強く残ったと思います。この悔しさをバネにまた一回り成長してくれることを願っています。

サッカーに全力で取り組む大和高校サッカー部の応援を引き続きよろしくお願いします！

☆新人戦試合結果☆

【11/2】 vs 相模田名高校 8-0
【11/26】vs 大和南高校 1-1
【12/24】vs 柏木学園高校 5-0
【1/14】 vs 大和西高校 4-1
【1/21】 vs 光明学園相模原高校 1-3
【1/28】 vs 秦野高校 0-1

お疲れさまでした！

☆ 祝 県優秀選手選出☆

このたび神奈川県 U16 ユース研修会で本校１年中原一樹が優秀選手に選出されました。神奈川県内から 20 名が選出され、県立高校では中原のみの選出となりました！本校２年国体優勝 GK 折原に続いて、２人目の快挙です！県立高校の部活動という限られた環境のなかで、向上心を持って取り組み続けた本人の活躍を大和高校一同応援しています。大和高校サッカー部の看板を背負って頑張ってください！

☆今大会を振り返って☆

負けた試合はすべて自分たちの甘さが出た試合だった。試合に向き合う姿勢や準備の不足、開始直後に相手の勢いにのまれてしまう弱さなど、自分たちで声を掛け合ってピッチ内外で解決することができなかった。技術面だけではなく、もっと基本的な部分を高めていかなければいけないと強く感じた。　　(キャップテン　２年　折原)

大和高校一同

応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。

和高蹴球新聞

令和５年３月７日
第　11　号
県立大和高校サッカー部

令和４年度 新生大和高校サッカー部を振り返ります

今回は令和４年度大和高校サッカー部の活動を振り返るとともに、令和５年度に向けての抱負を紹介します。今年度は前小林監督・井上コーチの異動に伴い、新たに鎌倉高校から宮澤監督が着任されました。外部トレーナーを招集したり、地域の学校やクラブチームと交流したり、星稜高校や流通経済大学付属柏高校など県外の強豪校との練習試合も積極的に行うなど、多くの新たな取組みも始まりました。そこで、キャプテン・副キャプテンのインタビューを通して、新生大和高校サッカー部の思いに迫ります！

サッカーに全力で取り組む大和高校サッカー部の応援を引き続きよろしくお願いします！

☆令和４年度活動実績☆

【大会結果】
関東予選二次予選２回戦進出
インターハイ予選二次予選進出(ベスト 28)
全国高校選手権県予選二次予選進出
地区新人戦４位

【その他】
国体サッカー少年男子優勝(２年折原怜)
関東トレセンキャンプ選出(２年折原怜)
県優秀選手選出(１年中原一樹)
地区選抜選出(１年中原・廣嶋・太田・鈴木)

大和高校サッカー部について聞きました

Q．今年度を振り返ってどうでしたか？

新しく宮澤監督が着任され、グラウンド設備はもちろん、練習、試合に関してもチームにとってよりよい環境を作ってもらった。また、チームも一人ひとりが考えてプレーする組織に変化しつつある。大和高校サッカー部として大きく変化した１年だった。

(キャプテン　２年　折原)

Q．来年度に向けての抱負は？

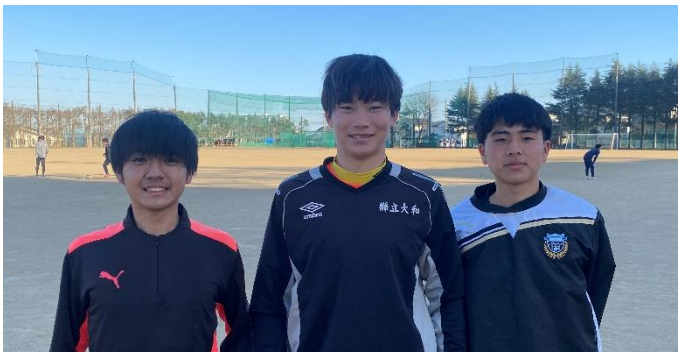
目の前の一戦一戦に集中し、関東予選で果たしている二次予選進出をインターハイ予選でも成し遂げ、最終的には選手権県予選ベスト８に繋げていきたい。また、チーム内で積極的な競争を促すことでよりよい雰囲気を作り、必ず目標達成したい。

(副キャプテン　２年　信太)

Q．大和高校サッカー部の魅力は？

ポジティブな声かけが多く、学年の垣根を越え、お互いに指摘し合うことができる。また、身近に関東や県、地区の選抜に選ばれている選手がいるため、高いレベルで切磋琢磨できる。強豪校との練習試合ができることも魅力の一つだと思う。

(副キャプテン　２年　長谷川)



(左 副ｷｬﾌﾟﾃﾝ信太・中央 ｷｬﾌﾟﾃﾝ折原・右 副ｷｬﾌﾟﾃﾝ長谷川)

大和高校一同　応援しています！

〈和高蹴球新聞編集方針〉「顔(F)・本(B)・やってます」
サッカー部で真剣に取り組む生徒の「顔」と活動を「本」のように記録することで、輝く生徒たちの情報発信「やってます」。